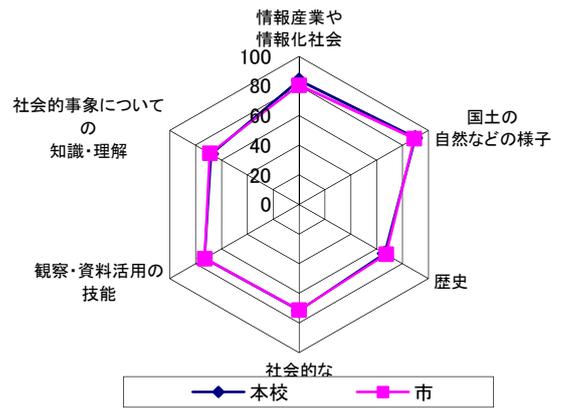


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	83.7	80.5
	国土の自然などの様子	89.8	89.0
	歴史	66.2	67.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	71.5	71.3
	観察・資料活用 of 技能	73.0	73.1
	社会的な事象についての知識・理解	68.0	69.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の特色や情報と産業、情報と自分のかかわりについて判断したり、考察したりする力が身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童に身近な社会とのかかわりについては関心も高く、自分の問題として判断したり、考察したりすることが容易であると考えられる。他の領域でも、児童にとって身近な教材を準備し、指導していく。
国土の自然などの様子	<ul style="list-style-type: none"> 森林に関する内容と一致する資料を選択するなど、簡単な資料活用 of 技能は身に付いているが、複数の資料の変化を読み取って判断する力や、森林の働き of 理解力が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図や写真、グラフなど、複数の資料を比較し、それぞれ資料からわかることを細かく読み取らせながら、比較するポイントをおさえ、共通する点や具体的な違いを考えさせる。 身近な環境問題に目を向けさせ、国土の保全や水資源の涵養のための森林資源の重要性や環境保全のための国民一人一人の協力の必要性を理解させる。
歴史	<ul style="list-style-type: none"> 正答率が低いのは「明治維新と世界に歩みだした日本」の単元や、選択解答でなく、記述解答の問題である。 資料をもとに時代の様子を把握したり、反対に、その時代の様子を表す資料を指摘したりする問題の正答率は高いが、時代を横断した複数の資料から共通するテーマを類推する問題の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「明治維新と世界に歩みだした日本」の単元は、欧米の文化を取り入れながら諸改革を行い、近代化を進め、それにより国力も充実し、国際的な地位が向上して生活や社会が変化したことなど、理解すべき内容が多い。もう一度この時代の流れや、日本と世界各国とのかかわりなどを年表や地図、関係図などまとめ直して復習する。 各時代の代表的な歴史事象だけでなく、人物や政治、文化、外国とのかかわりなど、テーマごとに年表などにまとめる活動を取り入れる。